

報道関係者各位

2017年 6月 9日

デイサービスに通うシニアが日常をつづった川柳コンテスト 「第2回ケアパートナー川柳」最優秀賞など計18作品が決定！

大東建託株式会社(本社:東京都港区 代表取締役社長:熊切直美)の100%出資子会社であり、全国28都道府県に77カ所のデイサービスを展開するケアパートナー株式会社(本社:東京都港区 代表取締役社長:白井孝和)は、昨年に続き川柳コンテスト「第2回ケアパートナー川柳」を実施しました。施設利用者の皆さまから「家族と仲間」をテーマに募集した川柳は、素敵な夫婦仲、お孫さんとの幸せ、“デイとも”^{*}との心の交流などが表現されています。今回は応募総数798作品の中から、「最優秀賞」3作品、「優秀賞」12作品、「ハッピーで賞」「お茶目で賞」「1枚上手で賞」各1作品、計18作品を選出しましたのでお知らせします。

※“デイとも”とは、「第1回川柳コンテスト」の作品にみられた言葉で、「デイサービス友達」の略。

■ケアパートナー川柳とは

ケアパートナーでは、心身機能の向上やお客様の自立を支援するために、様々なゲーム・手工芸・カラオケなど、遊び感覚で参加できるレクリエーションを採用しています。「ケアパートナー川柳」は、そのレクリエーションの一環として実施されました。

今回選出された18作品は、水分補給・代謝促進のために施設利用者様にお配りしている、ケアパートナーオリジナル麦茶『元気茶』と、美味しい軟水『元気すい水』のパッケージに印字されます。
※1本あたりランダムに3作品を印字し、2017年6月より配付開始



第2回ケアパートナー川柳概要

テーマ : 家族と仲間
 参加者 : ケアパートナー施設利用者
 募集期間 : 2017年1月16日～2月10日
 主催 : ケアパートナー株式会社
 (<https://www.care-partner.com/>)
 審査員 : やすみりえ氏 (川柳作家)
 羽吹さゆり氏 (介護講師)
 ケアパートナー株式会社



「元気茶」と「元気すい水」

■各施設での表彰式日程(予定)

最優秀賞を受賞した3名の方の利用施設をそれぞれ訪問し、表彰式(盾と記念品の授与)を行います。

センター名	日程	時間	所在地
ケアパートナー西新井	6月17日(土)	10:00～10:30	東京都足立区西新井4-26-21 ハッピーノコア
ケアパートナーみなと	6月19日(月)	14:00～14:30	愛知県名古屋市港区宝神2-2008
ケアパートナー明野	6月14日(水)	14:00～14:30	大分県大分市明野北5-1-48

※取材の申し込みは、経営企画室(TEL:03-6718-9174)までお願いします。

なお、誠に勝手ながら、準備の都合上表彰式の2日前までにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

■受賞作品

<年代/性別> <センター名>

最優秀賞

「幸（しあわせ）は 今日もあえるか ケアの友」 80代/女性 西新井

《講評》友人に対し、「今日もあえるか」という感情を素直に表現している点が、家族・友人というテーマにあっていると思います。一瞬一瞬の幸せを上手に表現しているとても前向きな句です。“ケアの友”の「ケア」がケアパートナーのことを指しているのであれば、社員一同報われる思いです。

「食台を 二つ並べて 皆揃う」 80代/女性 みなと

《講評》普段は1つのテーブルを2つ並べる必要があるという場面に、特別感や賑やかさを連想します。大家族が一般的だった日本の昔の家庭をイメージさせるような、ノスタルジーを感じさせる作品です。1つから2つという数字を使い、日常から非日常を表現している点が、本作品の魅力効果を効果的にアップさせています。

「入れ歯とり 顔を見合す じじとばば」 90代/女性 明野

《講評》あえて、『じじとばば』という表現を使っている点に、ご夫婦の深い愛情を感じます。『顔を見合す』とこゝろに、長年連れ添ってきたご夫婦ならではの愛情を感じます。言葉の並べ方が良いため、声に出して読んでみると非常にテンポ良く、味わい深い作品です。

優秀賞(12作品)

「春日和 ひ孫の手を取り 散歩する」 80代/女性 高崎

「孫の名が とっさに言えず あれとこれ」 70代/女性 上尾

「お迎えの イケメン兄さん 待つ娘」 70代/女性 草加

「手をつなぎ 仲よく転び 駄目介護」 80代/男性 船橋

「笑い声 家族輪になり ばばぬきを」 70代/女性 流山

「会いたいよ どの星なのか 合図して」 80代/女性 岡山西

「先立ちし 夫によく似た 横の人」 80代/女性 八王子

「夜こわい 昼スヤスヤの 白髪なで」 90代/男性 大高

「わが家族 こたつで盛土で 移動せず」 80代/女性 久居

「ケアパ行く 娘孝行 皆笑顔」 80代/女性 尾道

「引く足に 笑顔で娘 杖を出す」 90代/女性 賀来

「マスクとる かくれた顔が 美人なり」 80代/男性 森合

ハッピーで賞(1作品)

「傷癒えて 友の笑顔に 迎えられ」 90代/女性 大泉

お茶目で賞(1作品)

「ダーリンと 呼べばだれかと しらん顔」 80代/女性 三重川越

1枚上手で賞(1作品)

「重い腰 ひょいと浮かせる ほめ上手」 90代/男性 佐賀

■応募状況

	施設利用者数	応募作品数	一次審査通過作品数	応募者様年齢
第1回(2015年度)	9,886	701	71	54～95歳
第2回(2016年度)	10,482	798	67	52～98歳

■審査員プロフィール



【やすみ りえ氏】

大学卒業後、本格的に川柳の道へ。恋をテーマにした川柳が幅広い世代から共感を得る。多数の公募川柳の選者・監修を務めるかたわら、全国の子供たちへ「言葉について考えるワークショップ」を開催し、言葉の魅力を伝える活動も。大人を対象とした川柳講座も人気。

東京川柳人協会会員、全日本川柳協会会員、文化庁文化審議会委員も務める。



【羽吹 さゆり氏】

法政大学社会学部卒業。次女を出産後介護業界に入る。訪問介護、グループホーム、居宅介護支援事業所で現場経験を重ねた後、日本医療大学の介護職養成講座等の専任教員に従事する。平成26年学校を退職後、実践的な介護技術研修を行う介護人材育成事業「アモールファティ」を立ち上げる。他にも、シニアへの貢献活動を行う「豊島区中高生快護部」など豊島区子ども地域活動支援事業を企画・運営するなど、幅広い分野で精力的な活動を行う。

＜本件に関するお問い合わせ＞

大東建託株式会社 経営企画室 出澤・和賀 TEL : 03-6718-9174